



## 平成25年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年1月10日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	5,708		451		459		238	
24年2月期第3四半期								

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 280百万円 ( %) 24年2月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	3,985.57	
24年2月期第3四半期		

(注) 平成25年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期第3四半期の数値及び対前年同期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	7,486	5,210	67.9
24年2月期			

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 5,087百万円 24年2月期 百万円

(注) 平成25年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年2月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		0.00		600.00	600.00
25年2月期		0.00			
25年2月期(予想)				600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,211		569		551		322		5,378.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表作成会社となるため、対前期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)  
詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」を参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	59,863 株	24年2月期	59,863 株
25年2月期3Q		24年2月期	
25年2月期3Q	59,863 株	24年2月期3Q	59,863 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続きは終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、第1四半期連結累計期間より連結決算を開始しております。

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半は震災関連需要や底堅い個人消費を背景として緩やかな回復傾向を呈しましたが、その後は海外経済の減速や長期化する円高などにより次第に停滞感を強めてまいりました。さらには、日中関係の悪化などの懸念材料も加わる中、GDPは前四半期比が3四半期ぶりにマイナスに転じるなど、景気の不透明さは一層強まる形で推移しました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況においても、不動産開発の停滞や国内民間設備投資の手控え等厳しい状況は続いており、一時期首都圏を中心に見えた復調の兆しもその勢いは長続きせず、一進一退の予断を許さない状況となっております。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業を大きな柱に据え、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,708百万円となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益451百万円、経常利益は459百万円、四半期純利益238百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (土壌汚染調査・処理事業)

不動産市況は一進一退を続けておりますが、引き続き営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高4,988百万円、営業利益551百万円となりました。

#### (廃石膏ボードリサイクル事業)

建設解体市場が比較的順調に推移した結果、売上高504百万円、営業利益107百万円となりました。

#### (その他)

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高336百万円、営業利益40百万円となりました。

なお、前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。（以下「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」においても同じ。）

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,486百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,017百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金416百万円、売掛金及び受取手形1,405百万円であります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は5,469百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産5,055百万円、投資その他の資産405百万円であります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,004百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金564百万円、短期借入金1,121百万円であります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は271百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金67百万円、引当金114百万円であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,210百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,446百万円、資本剰余金1,242百万円、利益剰余金2,398百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年7月12日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、重要性が増したことにより、株式会社グリーンアローズ中部を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
 (平成24年11月30日)

<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	416,064
受取手形及び売掛金	1,405,698
たな卸資産	85,348
その他	126,119
貸倒引当金	16,160
流動資産合計	2,017,071
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,149,506
土地	3,259,938
その他(純額)	646,192
有形固定資産合計	5,055,637
無形固定資産	
投資その他の資産	
その他	430,074
貸倒引当金	24,615
投資その他の資産合計	405,458
固定資産合計	5,469,256
資産合計	7,486,328
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	564,294
短期借入金	1,121,595
未払法人税等	71,198
引当金	4,542
その他	242,630
流動負債合計	2,004,261
固定負債	
長期借入金	67,812
引当金	114,721
その他	89,374
固定負債合計	271,907
負債合計	2,276,168

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成24年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,446,921
資本剰余金	1,242,433
利益剰余金	2,398,442
株主資本合計	5,087,796
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	38,537
その他の包括利益累計額合計	38,537
少数株主持分	83,825
純資産合計	5,210,159
負債純資産合計	7,486,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	5,708,241
売上原価	4,669,520
売上総利益	1,038,721
販売費及び一般管理費	587,479
営業利益	451,241
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	1,650
スクラップ売却益	3,474
その他	8,642
営業外収益合計	13,775
営業外費用	
支払利息	5,147
その他	1
営業外費用合計	5,148
経常利益	459,868
特別利益	
固定資産売却益	2,006
特別利益合計	2,006
特別損失	
固定資産売却損	1,477
特別損失合計	1,477
税金等調整前四半期純利益	460,398
法人税、住民税及び事業税	191,460
法人税等調整額	365
法人税等合計	191,094
少数株主損益調整前四半期純利益	269,303
少数株主利益	30,714
四半期純利益	238,588



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	269,303
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	11,421
その他の包括利益合計	11,421
四半期包括利益	280,724
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	250,009
少数株主に係る四半期包括利益	30,714

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「土壌汚染調査・処理事業」と「廃石膏ボードリサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。また、「廃石膏ボードリサイクル事業」は、廃石膏ボードを選別・破碎・ふるい分け等により製造した石膏粉を石膏ボードメーカーに納品すると共に、石膏粉を主原料とした固化剤を製造、販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,988,511	502,334	5,490,846	217,395	5,708,241	-	5,708,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	297	2,092	2,390	119,222	121,612	121,612	-
計	4,988,809	504,426	5,493,236	336,618	5,829,854	121,612	5,708,241
セグメント利益	551,383	107,514	658,897	40,739	699,636	248,395	451,241

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 248,395千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。